



中期経営計画及び 2022年3月期第3四半期決算説明会

 **日本特殊塗料株式会社**
(証券コード 4619 東証第1部)

Copyright © NIHON TOKUSHU TORYO CO., LTD. All Rights Reserved.

NIHON TOKUSHU TORYO CO.,LTD.



目次

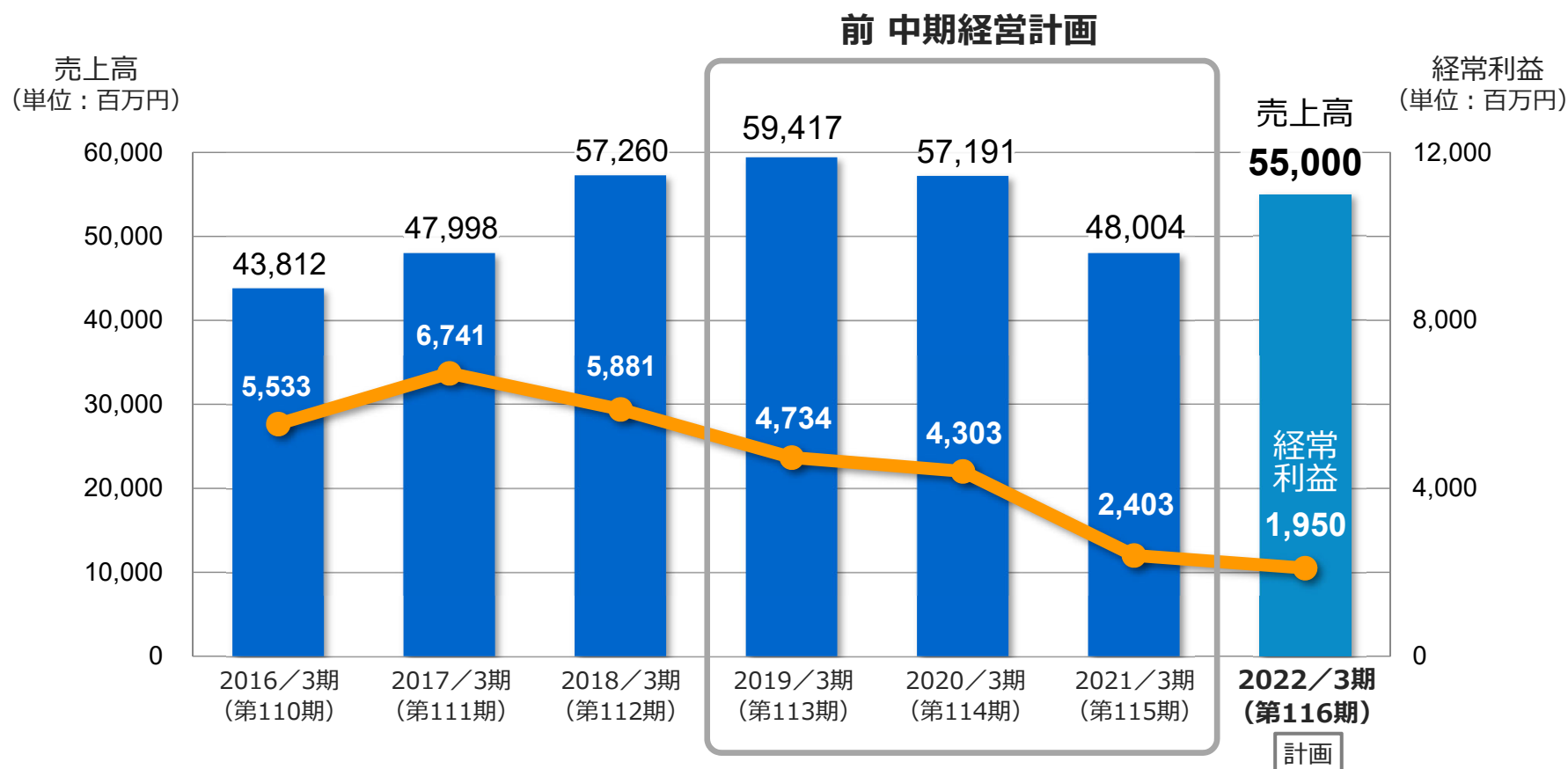
1. 前中期経営計画の振り返り
2. 当社グループを取り巻く事業環境
3. 中期経営計画の概要（基本戦略）
4. 中期経営計画の概要（業績目標）
5. 中期経営計画の進捗（2022年3月期第3四半期）
6. 上場維持基準適合に向けた取り組み

<参考資料>

1. 会社概要
2. 主要な経営指標の推移

1. 前中期経営計画の振り返り

- 新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動停滞等を受け、売上高が急減し、当初計画未達
(2021/3期 当初計画 売上高 650億円、経常利益 72億円)



2. 当社グループを取り巻く事業環境

塗料関連事業

- 国内の塗料市場は成熟、競争激化
- 労働人口減少が継続、人材不足が恒常化
- 社会インフラ（道路、橋等）の老朽化進行によるメンテナンス需要が継続

自動車製品関連事業

- 半導体不足や感染症拡大による生産減（2022年3月期）
→ 中長期的にも、国内は構造的に需要減
- C A S E 等の技術革新、カーボンニュートラル対応の進展による大変革期
→ サプライヤーの位置付け、製品ニーズの変化・多様化

2. 当社グループを取り巻く事業環境

全社・共通

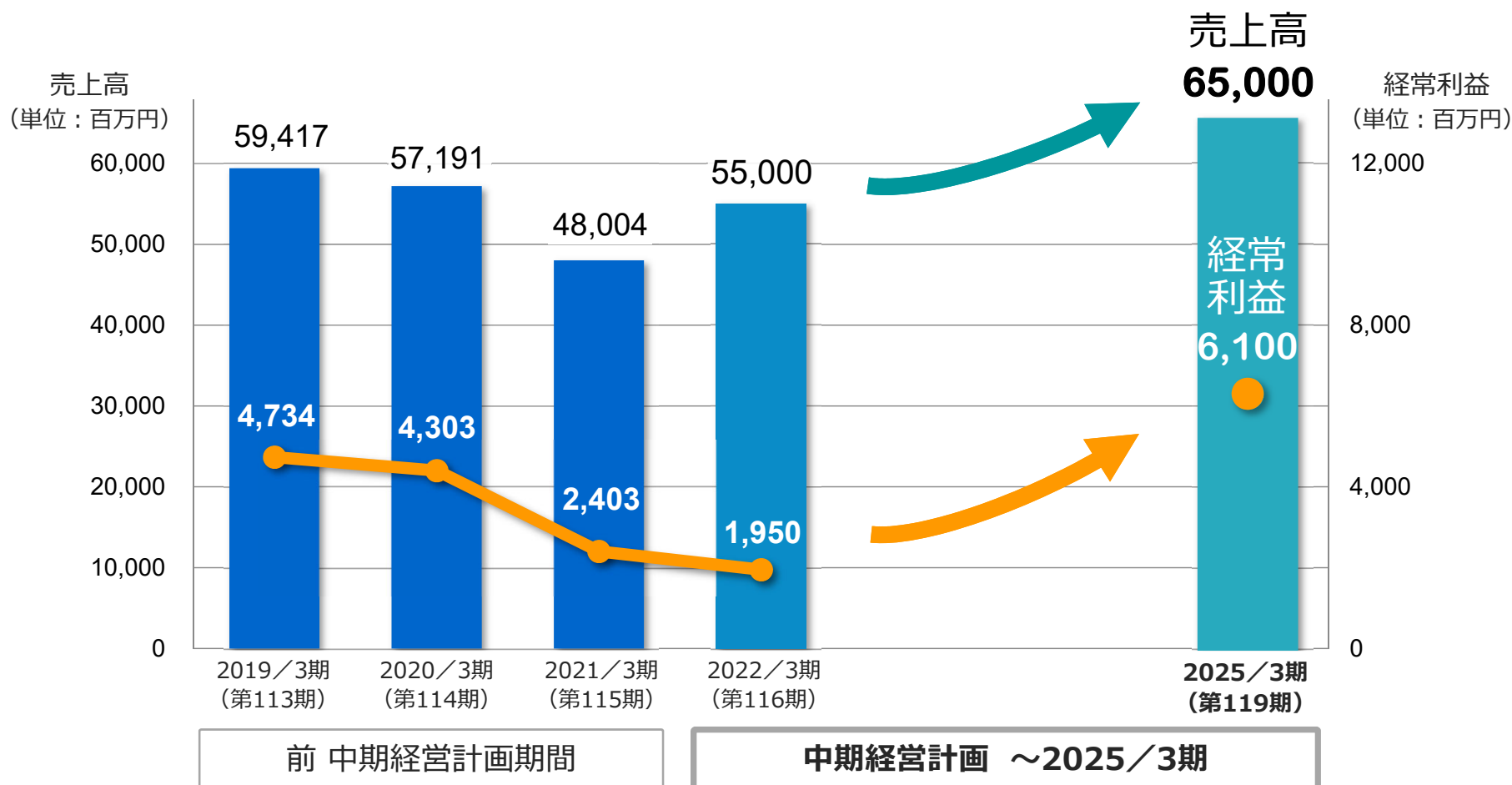
- 原材料価格高騰等により収益環境は悪化
- 環境問題をはじめとする社会的課題への対応、サステナビリティ（持続可能性）を意識した企業活動への要求向上



3. 中期経営計画の概要

業績目標 （最終年度 2025年3月期）

売上高 650億・経常利益 61億・ROE 10.0 %以上



3. 中期経営計画の概要

基本戦略

- (1) 国内事業の安定的な収益基盤の構築
- (2) 「技術のニットク」の強化と新技術・新製品開発
- (3) グローバル展開の強化
- (4) DX（デジタルトランスフォーメーション）推進
- (5) サステナビリティ（持続可能性）経営の推進

3. 中期経営計画の概要（基本戦略）

（1）国内事業の安定的な収益基盤の構築

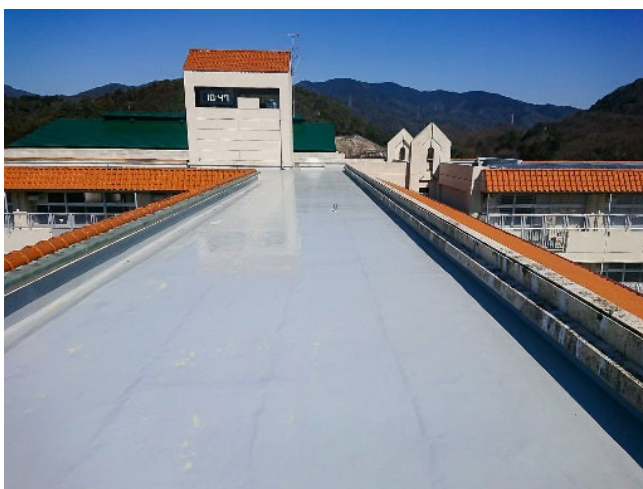
塗料

■ 既存製品のシェア拡大

防水材等の拡販、新規参入した土木分野の強化。

共通

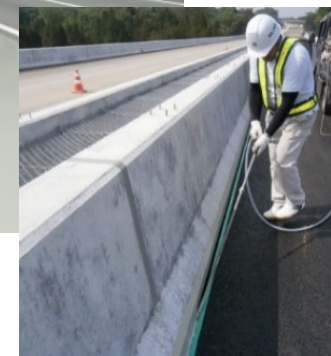
■ 継続的な収益力改善



建築用塗膜防水材「プルーフロンエコDX」採用例



土木分野「床版防水材」



土木分野「端部防水材」

3. 中期経営計画の概要（基本戦略）

（2）「技術のニットク」の強化と新技術・新製品開発

塗料

■ 高機能・高付加価値製品の開発

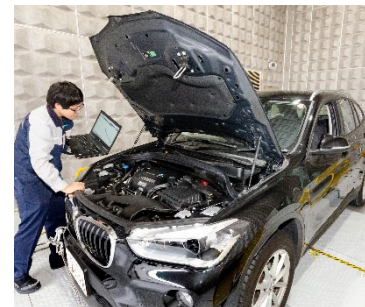
自動車
製品

■ 変化に対応した新技術・新製品開発

モビリティ革命進展を見据え、高い防音性能に加え、変化に対応した新技術・新製品を開発し、競争力を強化。

防音性能 + デザイン性 + α （新機能）

防音性能 + 研究開発力・技術力
・提案力
+ 低コスト（高い競争力）



音響解析のための実車テストベンチ（スムーズ&ラフ面）



ISOCELL：防音部品の音響透過損失測定装置

3. 中期経営計画の概要（基本戦略）

(3) グローバル展開の強化

塗料

■ 海外マーケットの開拓

主に中国・東南アジア向けに、防水材、塗り床材、遮熱・断熱塗料をはじめ、多様なニーズに即した高付加価値製品の販売を強化。

自動車 製品

■ 技術提携先、海外 J Vとの連携強化

原料調達から「ものづくり」まで、グローバルで連携を強化し、原価改善、生産体制の最適化（サプライチェーンの強化）、生産性向上を図る。

3. 中期経営計画の概要（基本戦略）

■ グローバル・ネットワーク（現状）

自動車製品関連事業



連結子会社

武漢日特固防音配件有限公司（中国）
武漢日特固汽車零部件有限公司（"）



持分法適用会社

天津日特固防音配件有限公司（中国）



持分法適用会社

UGN, Inc. 本社（アメリカ）



持分法適用会社

日特固(広州)防音配件有限公司（中国）



連結子会社

PT. TUFFINDO NITTOKU AUTONEUM（インドネシア）



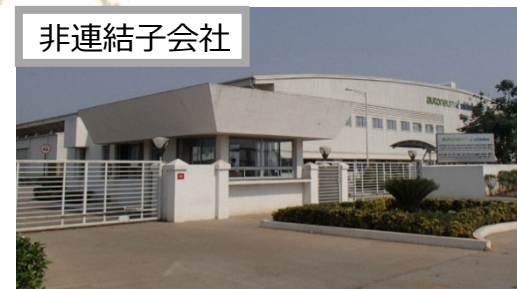
持分法適用会社

SNC Sound Proof Co., Ltd.（タイ）



持分法適用会社

SRN Sound Proof Co., Ltd.（タイ）



非連結子会社

Autoneum Nittoku Sound Proof Products India Pvt. Ltd.（インド）

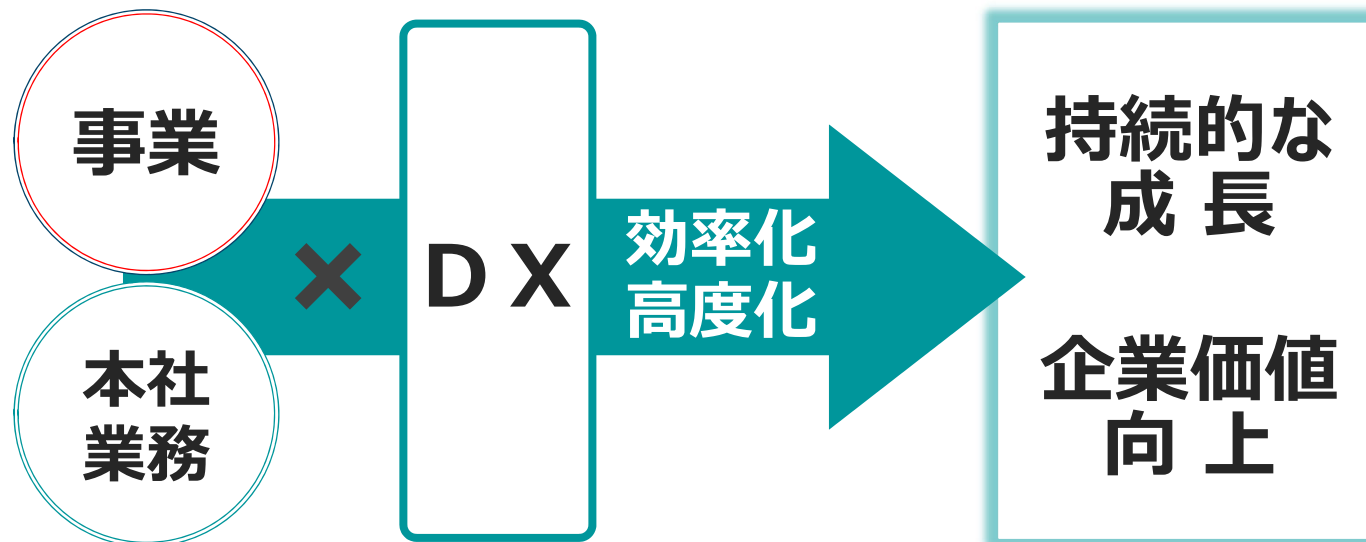
3. 中期経営計画の概要（基本戦略）

（4）D X（デジタルトランスフォーメーション）推進

全社
・
共通

■ デジタル技術活用による効率化推進（D X推進）

開発、製造、本社等全部門で、A I（人工知能）を含めた最新デジタル技術を活用し、D Xを推進。
（E D Iシステム、P L Mシステム、電子契約・・・）



3. 中期経営計画の概要（基本戦略）

（5）サステナビリティ（持続可能性）経営の推進

<環境負荷低減、社会課題解決への取り組み>

塗料

■ 環境配慮型製品の拡充

CO2排出量削減に寄与する遮熱塗料等の環境配慮型製品を強化・拡充。

自動車製品

■ マテリアルリサイクル推進（C E 推進）

回収したユニフォーム等の古衣料を自動車用防音材に再生する古衣料リサイクルを推進。



優れた遮熱効果で省エネ対策や環境対策にも有効な屋根用遮熱塗料「パラサーモシリーズ」



防音材リサイクルライン



リサイクル繊維を利用した生産設備

3. 中期経営計画の概要（基本戦略）

（5）サステナビリティ（持続可能性）経営の推進

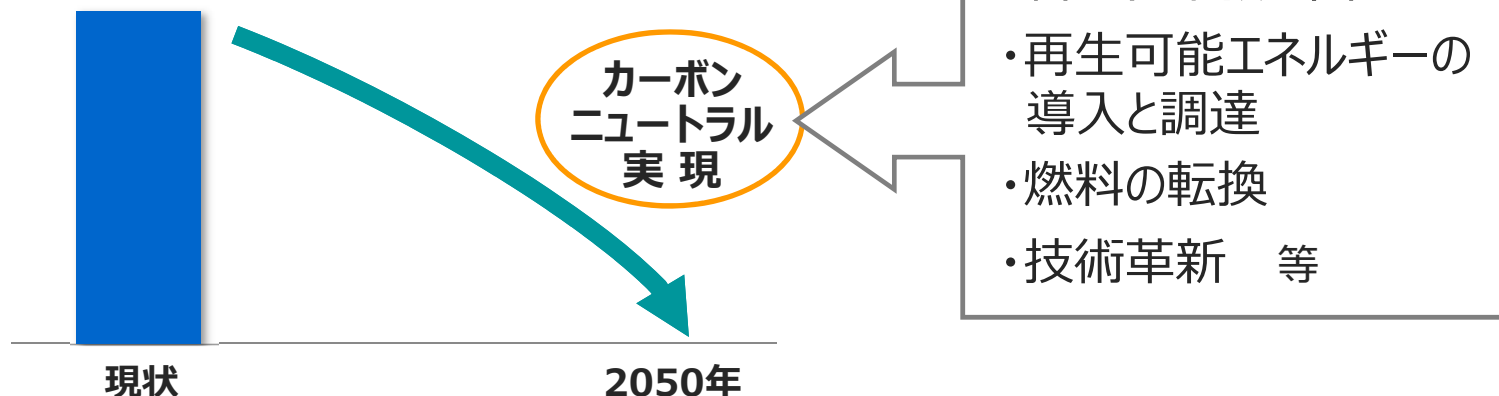
＜環境負荷低減、社会課題解決への取り組み＞

全社
・
共通

■ カーボンニュートラルの実現

2021年10月、カーボンニュートラルプロジェクトを立ち上げ、2050年に全ての製品と企業活動を通じたカーボンニュートラルの実現を目指す。

【CO2排出量削減のイメージ】



3. 中期経営計画の概要（基本戦略）

（5）サステナビリティ（持続可能性）経営の推進

全社
・
共通

■ 人財育成の強化、「『働きがい』改革」

持続可能な成長を支える人財育成の強化、『働きがい』のある活力に満ちた職場づくりを推進

■ ガバナンスの強化

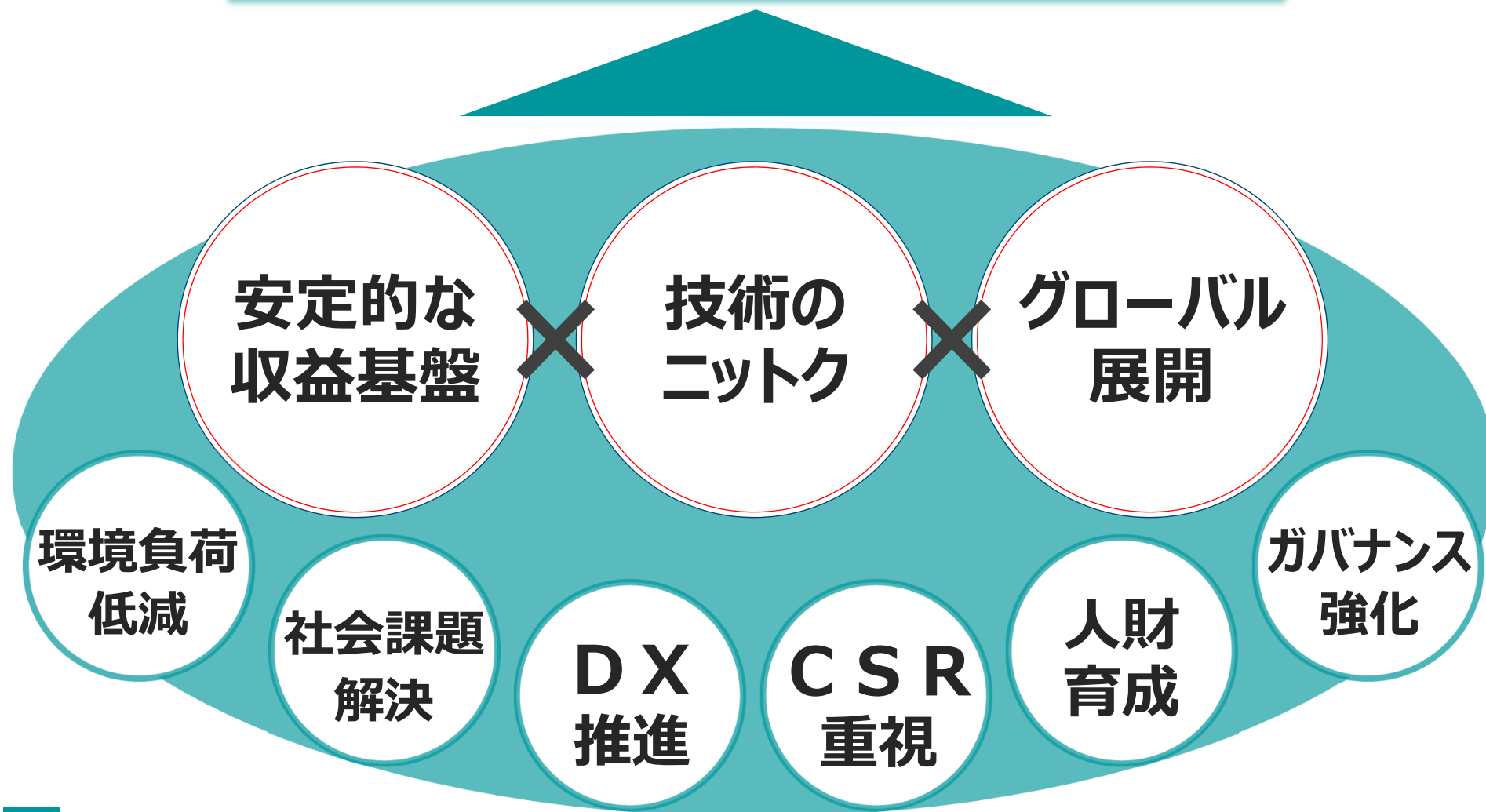
東証コーポレートガバナンス・コードに定められた各原則の趣旨を踏まえた施策を推進し、グループガバナンスの強化、全社一体での成長を実現。

■ CSR重視の施策を推進

サステナビリティ経営推進に向けた方針の策定、マテリアリティ（重要課題）の特定、統合報告書発行等に注力。

3. 中期経営計画の概要（基本戦略）

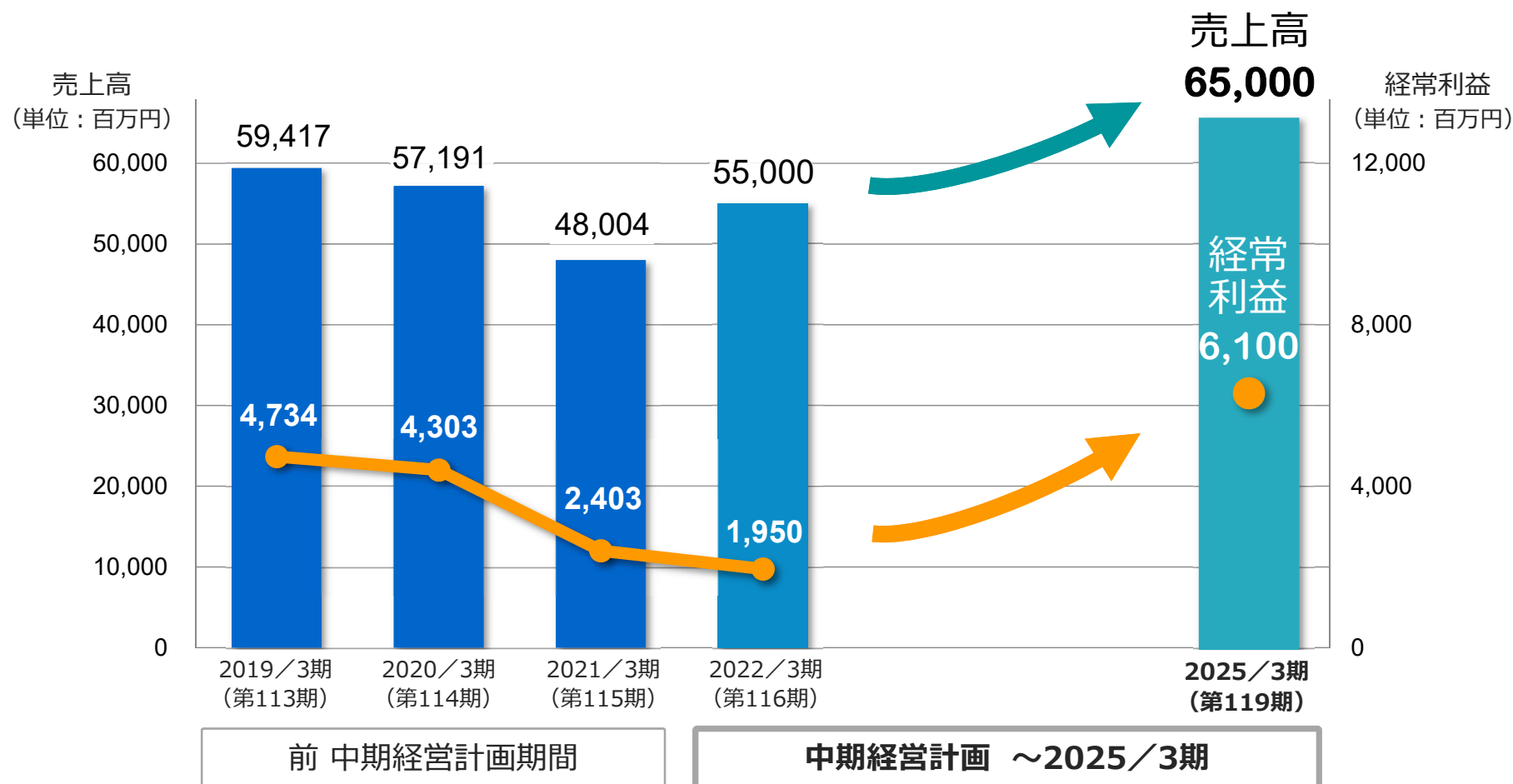
持続的な成長・企業価値向上



4. 中期経営計画の概要（業績目標）

業績目標（最終年度 2025年3月期）

売上高 650億・経常利益 61億・ROE 10.0 %以上



4. 中期経営計画の概要（業績目標）

	2019年 3月期 実績	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 実績	2022年 3月期 修正予想	2025年 3月期 最終年度目標	2021/3期比 増減額	増減率
売上高 (百万円)	59,417	57,191	48,004	55,000	65,000	+16,995	+35.4%
営業利益 (百万円)	2,973	2,827	858	1,100	4,300	+3,441	+400.7%
経常利益 (百万円)	4,734	4,303	2,403	1,950	6,100	+3,696	+153.8%
親会社株主 に帰属する 当期純利益 (百万円)	2,795	2,318	1,301	850	4,300	+2,998	+230.4%
1株当たり 当期純利益 (円)	126.74	105.34	59.27	39.15	197.0	+137.7	+232.4%
R O E (%)	6.9	5.7	3.1	—	10.0	以上	

4. 中期経営計画の概要（業績目標）

セグメント別売上高

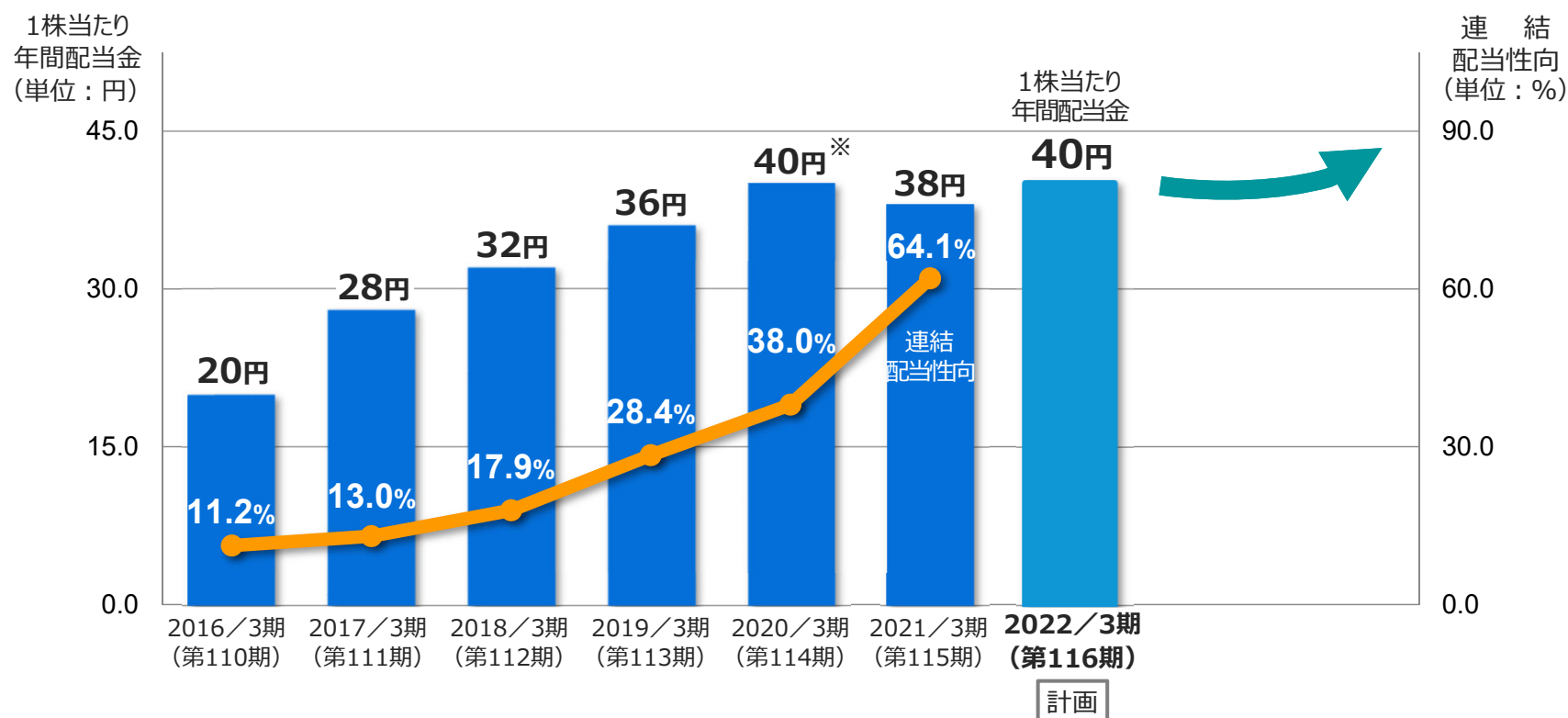
	2019年 3月期 実績	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 実績	2022年 3月期 修正予想	2025年 3月期 最終年度目標	2021/3期比 増減額	増減率
塗料	15,973	16,191	14,846	18,200	18,900	+4,053	+27.3%
自動車	43,430	40,985	33,143	36,800	46,100	+12,956	+39.1%

セグメント別営業利益

塗料	107	277	199	250	500	+300	+150.2%
自動車	2,858	2,543	650	850	3,800	+3,149	+484.0%

4. 中期経営計画の概要（配当方針）

安定配当をベースに、戦略的投資に向けた資金充実、財政状態・利益水準、配当性向（30%を目安）等を総合的に勘案し、決定（安定配当 + α ）



※2020/3期（114期）は創立90周年記念配当2円を含む（普通配当38円）

5. 中期経営計画の進捗（2022年3月期第3四半期）

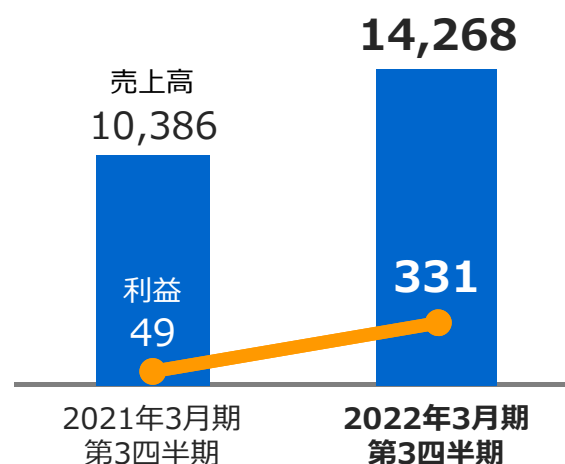
2022年3月期第3四半期サマリー

単位：百万円

	21／3月期 第3四半期		22／3月期 第3四半期		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	33,831	－	39,905	－	+6,074	+18.0%
売上原価	27,373	80.9	32,499	81.4	+5,126	+18.7%
販売費及び 一般管理費	6,555	19.4	6,649	16.7	+94	+1.4%
営業利益	△97	－	756	1.9	+853	－
経常利益	633	1.9	1,487	3.7	+853	+134.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	15	0.0	541	1.4	+525	+3,353%
1株当たり 四半期純利益	0.71円	－	24.92円	－	+24.21円	－

5. 中期経営計画の進捗（2022年3月期第3四半期）

塗料関連事業



単位：百万円

	21年3月期 第3四半期	22年3月期 第3四半期	増減率
売上高	10,386	14,268	+37.4%
セグメント利益	49	331	+571.6%
(利益率)	(0.5%)	(2.3%)	

【売上高】

- ・塗料、工事関連売上ともに前年同期比で順調に推移
特に、工事関連売上については受注済の工事も進捗し、前年同期比+117.8%増加

【セグメント利益】

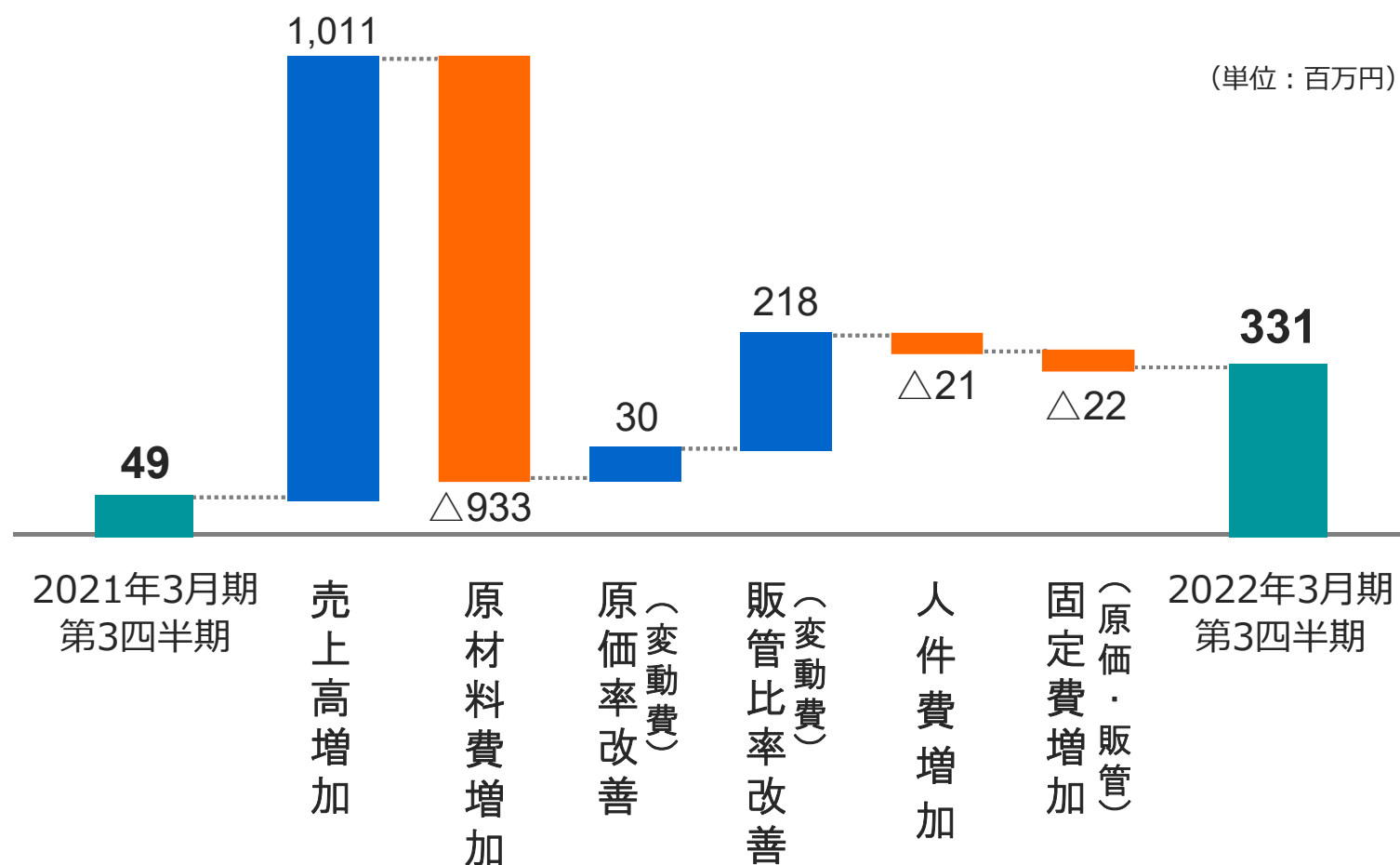
- ・原材料価格高騰等の影響を受けたものの、売上高回復、経費低減策等により増益

※要因分析は、次頁参照

5. 中期経営計画の進捗（2022年3月期第3四半期）

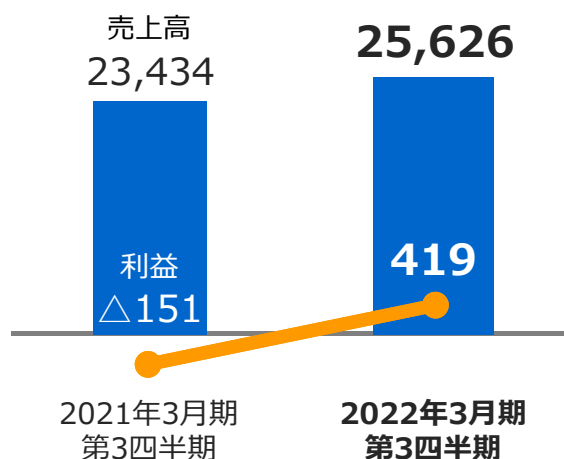
塗料関連事業

【利益増減要因分析】



5. 中期経営計画の進捗（2022年3月期第3四半期）

自動車製品関連事業



単位：百万円

	21年3月期 第3四半期	22年3月期 第3四半期	増減率
売上高	23,434	25,626	+9.4%
セグメント利益	△151	419	—
(利益率)	(—)	(1.6%)	

【売上高】

- ・世界的な半導体不足、新型コロナウイルス感染症拡大が懸念されるものの、一定の需要回復により増収

【セグメント利益】

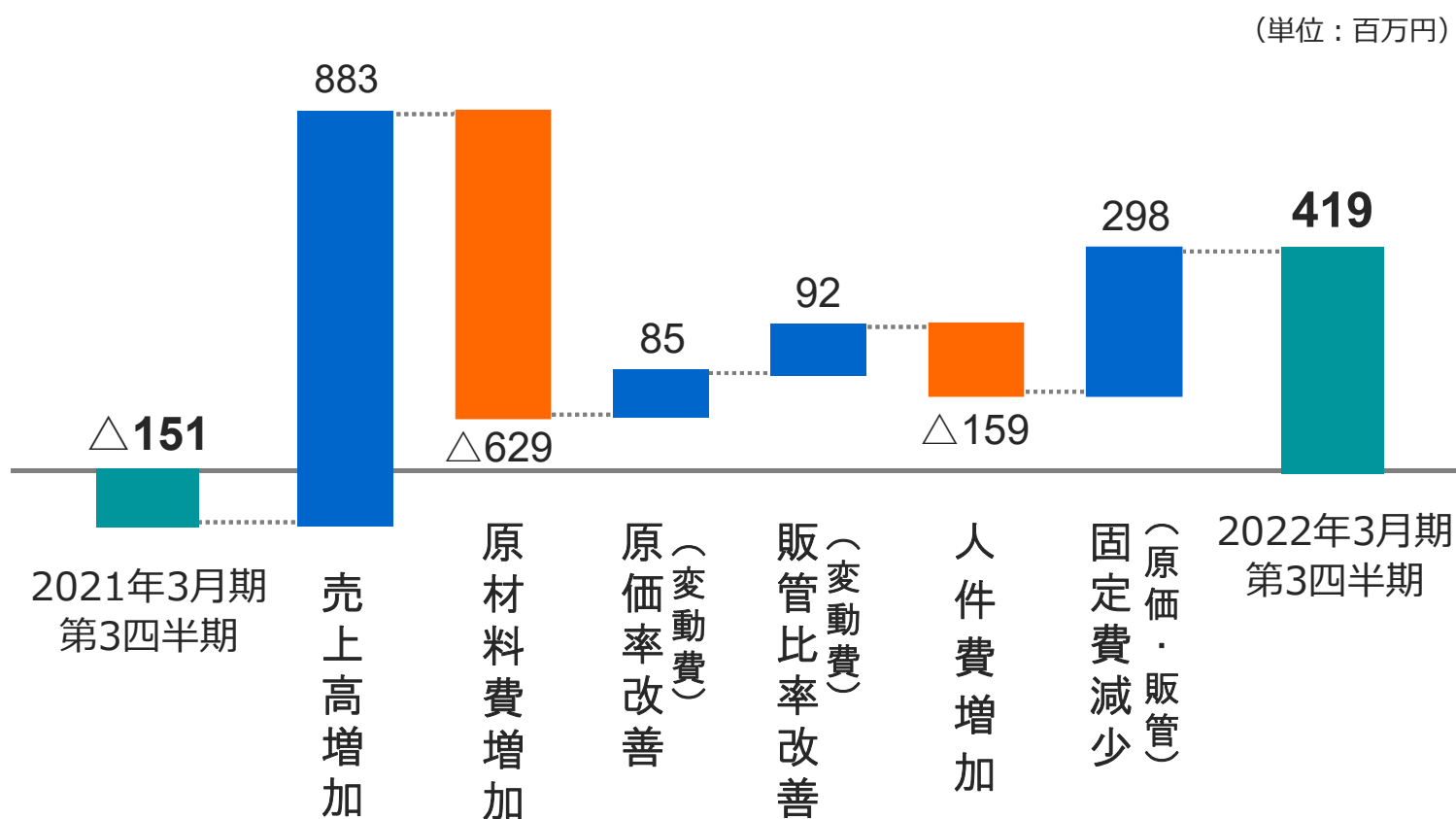
- ・売上高回復等により黒字化を達成したものの原材料価格高騰等の影響大

※要因分析は、次頁参照

5. 中期経営計画の進捗（2022年3月期第3四半期）

自動車製品関連事業

【利益増減要因分析】



6. 上場維持基準適合に向けた取り組み

選択市場

プライム市場

上場維持基準の適合状況

当社の移行基準日（2021年6月30日）におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、『流通株式時価総額』について、以下のとおり基準を充たしておりません。

	プライム市場 上場維持基準	当社の状況
流通株式時価総額	100 億円	91.0 億円

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです

6. 上場維持基準適合に向けた取り組み

基本方針

『**流通株式時価総額**』は、『**時価総額**』×『**流通株式比率**』に分解できます。

『**時価総額**』については、2025年3月期を最終年度とする中期経営計画に基づく、業績の向上、株主還元の充実、コーポレートガバナンスやC S R・E S G関連施策の推進に加え、I Rの強化等により、企業価値（時価総額）向上を目指します。

『**流通株式比率**』については、プライム市場の上場維持基準を充足しておりますが、流通株式時価総額の向上に向け、株式流動性向上を目指した取り組みを継続します。

計画期間

上場維持基準を充たすための計画期間を、中期経営計画の最終年度となる **2025年3月期** までとします。計画書に記載の各種取り組みを進め、プライム市場の上場維持基準適合を目指します。

6. 上場維持基準適合に向けた取り組み

取り組み（時価総額向上）

- 中期経営計画に基づく基本戦略の推進（前掲）
- 株主還元の充実（前掲）
- サステナビリティ経営の推進（前掲）
- I Rの強化
英文情報開示の充実、投資家の認知度向上、対話の推進

取り組み（流通株式比率向上）

- 持合い株式及び政策保有株式の解消・縮減
- 自己株式の有効活用策の検討・実施

＜参考資料＞

1. 会社概要
2. 主要な経営指標の推移

1. 会社概要

(1) 会社概要

■ 商号	日本特殊塗料株式会社 (NIHON TOKUSHU TORYO CO., LTD.)
■ 本社	東京都北区王子3丁目23番2号
■ 創業	1929（昭和4）年6月1日
■ 資本金	47億5,308万円
■ 発行済株式数	23,611,200株
■ 連結従業員数	1,287名（2021年3月末時点） ※臨時雇用者を除く

1. 会社概要

(2) 役員・執行役員 <監査役設置会社>

■ 取締役

取締役会長
最高経営責任者(CEO)

野島雅寛

取締役副会長
最高財務責任者(CFO)

田谷 純

代表取締役社長
最高執行責任者(COO)

遠田比呂志

取締役

山口久弥

取締役

安井芳彦

取締役

土井義彦

取締役

鈴木裕史

取締役

中村 信

社外取締役

奈良道博

社外取締役

矢部耕三

■ 監査役

常勤監査役

川名宏一

社外監査役

高橋善樹

社外監査役

松藤 斉

■ 執行役員

執行役員

西岡寿美

執行役員

南雲三智夫

執行役員

栗原洋幸

執行役員

福富雄二

執行役員

力武洋介

1. 会社概要

(3) 社是・経営の基本理念

社是

創意工夫

経営の基本理念

卓越した技術と製品により社会に貢献する。

株主の利益を尊重し、社員の人格を大切にする。

環境と共生し、国際標準に準拠しつつ、
永遠の発展を目指す。

1. 会社概要

(4) 経営の基本方針・長期ビジョン

経営の基本方針

創意工夫を社是とし、独自の技術と製品をもって
顧客の要請と信頼にこたえる。

世界に活躍する企業として総合開発力を結集し、
新製品・新需要の開発に挑戦する。

人材の育成・雇用をはかるとともに、一切の無駄を省き、
高生産性・高収益を追求する。

長期ビジョン

塗料と防音材を柱に、快適環境を創造し、
社会に貢献する会社でありたい。

世界中から必要とされ、信頼される“ **nittoku** ”へ
さらに飛躍させたい。

働きに応じて評価され、働き甲斐のある
活力に満ちた会社を創り出そう。

1. 会社概要

(5) 沿革①

■ 創業～塗料事業の歩み

- 1929年 日本特殊塗料合資会社として、航空機用塗料の開発からスタート
- 1930年 「T・T（テー・テー）金属用塗料」を開発
- 1951年 セメント瓦用塗料「スレコート」を開発
- 1966年 屋根用塗膜防水材料「プルーフロン」の開発を皮切りに建築市場に参入
- 1973年 塗り床材「ユータック」を開発
- 1975年 航空機用「ポリウレタン塗料」が日本航空ジャンボ機に採用される
- 1983年 超高弾性壁面防水化粧材「ハイプルーフ」の開発で技術のニツクを印象づけた
- 1995年 「スカイハロー・トップコートFLV」を開発
- 1999年 「スカイハロー-E」H- II ロケットに採用
- 2001年 屋根用遮熱塗料「パラサーモ」を開発
- 2011年 光触媒塗料と同等の超低汚染性の機能を持つ「シルビアセラティ」を開発
- 2012年 有機無機ハイブリッド系塗り床材「ユータックコンプリート」を開発
- 2013年 風力発電ブレード用「ウィンドハロートップコートF」を開発
- 2014年 環境対応型建築用薄膜防水材料「プルーフロンエコDX」を開発
- 2016年 ガラス用遮熱塗料「NTサーモバランスNEO 1」を開発
- 2017年 学校環境衛生基準等を満足する「プールエースECO」を開発



1. 会社概要

(5) 沿革②

■ 自動車製品事業への参入と防音材技術の確立

- 1953年 自動車用防音・防錆塗料「ニットク・アンダーシール」を開発
- 1964年 自動車用制振材「メルシート」を上市、防音材メーカーとして歩み始める
- 1967年 防音材メーカー、マテック・ホールディング社（現オートニウム社）と技術提携
- 1968年 吸音材「タカ」を開発
- 1969年 遮音材「タカポール」の開発により、自動車用防音材分野での基礎技術を確立
- 1970年 自動車用遮音材「ダッシュインシュレーター」を開発
- 1978年 自動車用吸音材「ボンネットライナー」を開発
- 1988年 エムス・トーゴー社（現エフテック社）とクロスライセンス契約
- 2001年 超軽量防音システム部品「RIETER ULTRA LIGHT™」※の開発により、従来比30～60%の軽量化を実現
- 2003年 自動車用吸音材「ホイールハウスライナー」を開発
- 2010年 自動車用吸・遮音材「フロアカーペット」・「フロアアンダーカバー」を開発
- 2016年 フロアカーペットのバリエーションに「I F P」工法、「RIETER ULTRA LIGHT™」※のバリエーションに「H A」技術を導入



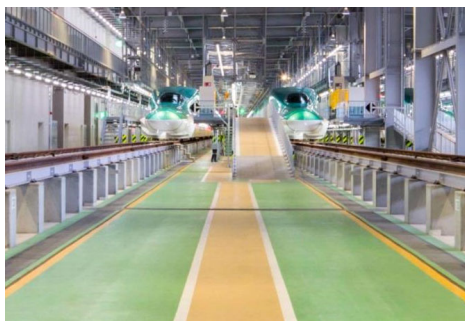
※「RIETER ULTRA LIGHT™」は、Autoneum Management AG の登録商標です

1. 会社概要

(6) 塗料関連事業 主要製品①

■ 建築・構築物用塗料

内外装材をはじめ、塗り床材・舗装材、防水材、屋根用塗料等様々な機能性塗料の開発、販売を行なっています。



塗り床材「ユータックE-40」
(北海道新幹線函館総合車両基地)



屋根用防水材「タフシール防水工法」
(坂の上の雲ミュージアム)

遮熱塗料は、屋根、外壁、屋上・バルコニー、ガラス面用など建物全般を遮熱し、高い省エネ・節電効果を発揮します。



屋根用遮熱塗料「パラサーモン」
(サヌキ畜産加工協同組合)

■ 航空機用塗料

苛酷な環境から航空機の機体を保護する航空機用塗料「スカイハロー」は、民間航空会社をはじめ、日本国政府専用機や各航空会社の特別塗装機、さらには宇宙航空研究開発機構の月周回衛星「かぐや」にも採用されています。



AIR DO 特別塗装機 ベア・ドゥ 北海道JET



宇宙航空研究開発機構
「月周回衛星かぐや」

1. 会社概要

(6) 塗料関連事業 主要製品②

■ 請負工事（集合住宅大規模改修工事）

子会社 ニットクメンテ(株)において、マンション等の大規模改修、修繕工事を請負

< ニットクメンテ株式会社 >

- ・事業所 東京・大阪・名古屋 他（全国8ヶ所）
- ・売上高 約50億円（2021年3月期）
- ・株主 当社、積水アクアシステム(株)



■ 建築・構築物用防音材



制振材「イーディケルM-3500SS」が採用された「ノエビスタジアム神戸」(ドーム屋根部分)

■ 鉄道車両用防音材



九州新幹線N700系「さくら」

■ DIY用製品



DIY用製品

1. 会社概要

(7) 自動車製品関連事業主要製品①

■ 吸音材・遮音材

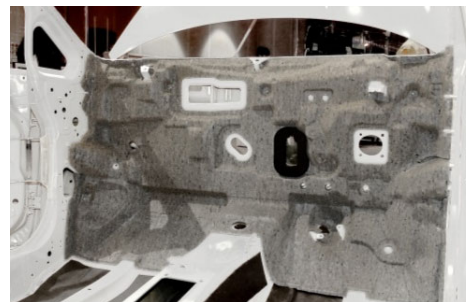
※「RIETER ULTRA LIGHT™」は
Autoneum Management AG の登録商標です



自動車用吸音材「フードインシュレーター」



自動車用吸音材
「トランスミッション
インシュレーター」



超軽量防音システム部品
「RIETER ULTRA LIGHT™」



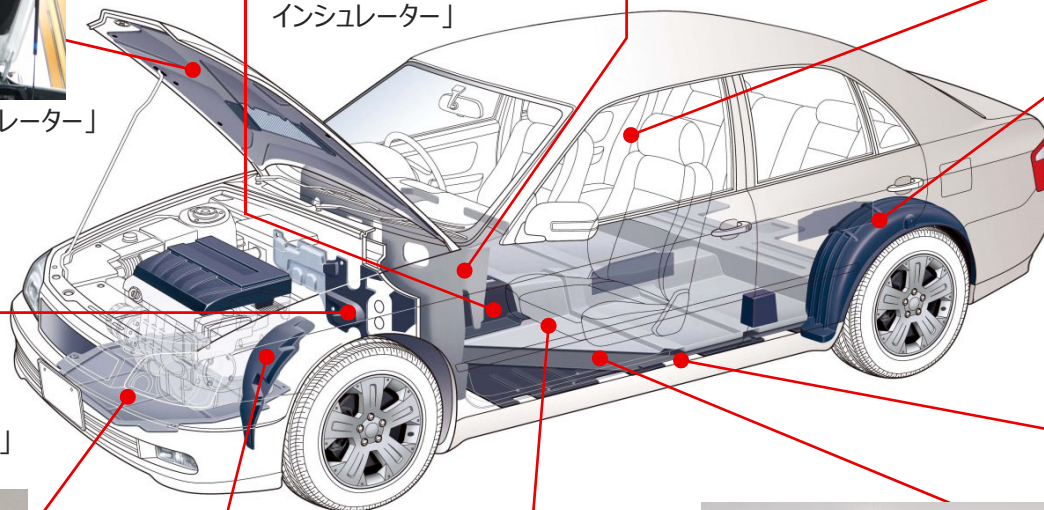
自動車用
吸音材
「吸音ダクト」



自動車用吸音材
「リア吸音
ホイールハウスライナー」



自動車用吸・遮音材
「ダッシュアウターインシュレーター」



自動車用吸音材
「吸音フロア
アンダーカバー」



自動車用吸音材
「吸音エンジンアンダーカバー」



自動車用吸音材
「フロント吸音
ホイールハウスライナー」



自動車用吸音材
「ヒートインシュレーター」

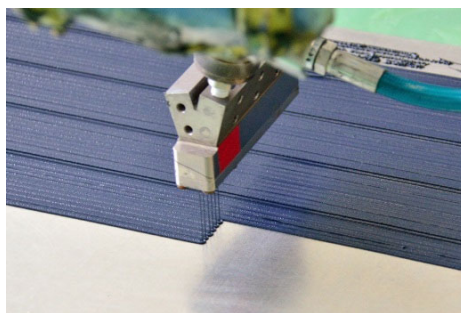


自動車用吸・遮音材「フロアカーペット」

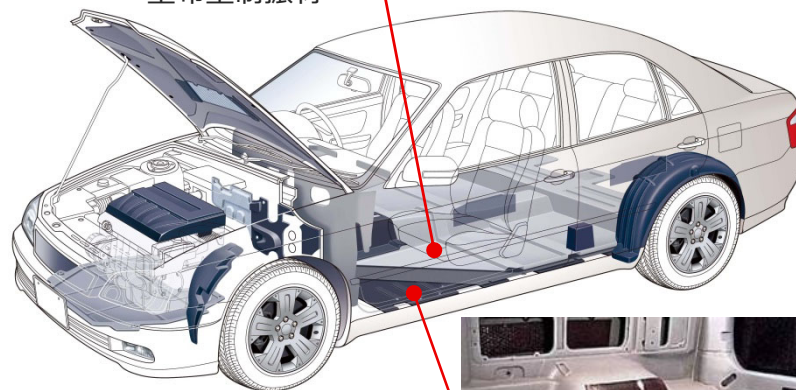
1. 会社概要

(7) 自動車製品関連事業 主要製品②

■ 制振材・防錆材



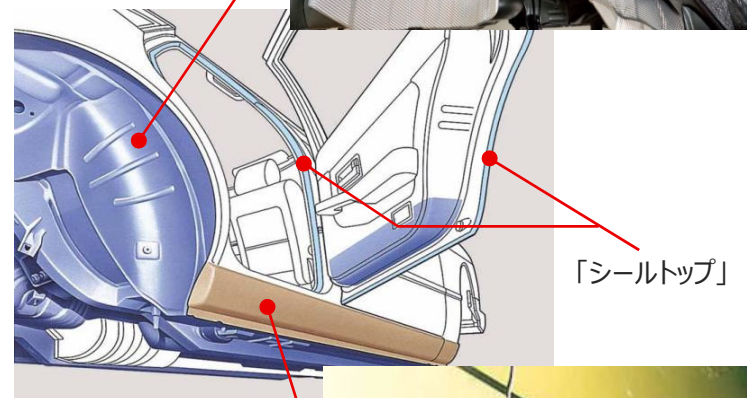
塗布型制振材



自動車用制振材「メルシート」

自動車用防錆材・シーラントの 代表的な塗装部位

「NTガードコート」
(PVC系)



「シールトップ」

「NTガードコート」
(PVC系・ウレタン系)



1. 会社概要

(8) 国内主要事業所

■ 本社・研究開発拠点



本社



開発センター



塗料技術棟



■ 国内6工場



平塚工場



静岡工場



愛知工場



広島工場



九州工場



東九州工場

2. 主要な経営指標（連結）の推移

	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
売上高 (百万円)	32,238	32,781	39,391	39,570	43,812	47,998	57,260	59,417	57,191	48,004
営業利益 (百万円)	895	461	1,303	1,629	2,961	3,162	3,286	2,973	2,827	858
経常利益 (百万円)	1,647	1,805	3,328	4,036	5,533	6,741	5,881	4,734	4,303	2,403
当期純利益 (百万円)	1,389	1,543	2,712	3,029	3,966	4,778	3,960	2,795	2,318	1,301
1株当たり 当期純利益 (円)	62.85	69.80	122.69	137.00	179.37	216.11	179.12	126.74	105.34	59.27
総資産 (百万円)	38,024	38,762	47,960	53,428	56,894	66,987	76,655	73,572	72,067	75,502
純資産 (百万円)	18,879	21,268	26,794	31,385	34,235	39,539	43,674	43,958	45,062	47,154
配当金 (円)	10.0	10.0	12.0	12.0	20.0	28.0	32.0	36.0	40.0	38.0
配当性向 (%)	15.9	14.3	9.8	8.8	11.2	13.0	17.9	28.4	38.0	64.1
自己資本比率 (%)	48.3	53.4	53.6	56.2	57.1	54.9	52.5	54.7	56.8	56.4
R O E (%)	7.7	7.9	11.7	10.9	12.7	13.8	10.3	6.9	5.7	3.1

【 I Rに関するお問合せ先】

日本特殊塗料株式会社 業務本部 財務部
(TEL : 03-3913-6134)

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

なお、本資料の内容は今後予告なしに変更することがあります。